

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
スポーツ健康学科三年制 ビジネスコース											
ホスピタリティ産業論											
対象	3年次	開講期	前期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平野祐司			実務 経験	有	職種	スポーツ団体職員				
授業概要											
観光地におけるホスピタリティ産業について、施設・事業形態、経営特性、経営課題について学習します。観光地におけるレジャー・レクリエーション活動を通じた体験観光、ホテルや旅館といった宿泊施設、自然ガイドツアー事業などについて、経営・マーケティング・地域の魅力づくりの3つの視点から考察を進めます。											
到達目標											
①ホスピタリティ産業が現代の市場に持つ影響やスポーツとの関わりを理解します。②ホスピタリティ商品の持つ特殊な面を理解し商品として自ら構成する力を身につけます。③ホスピタリティ商品が本来持つ付加価値の高さを理解します。											
授業方法											
近年注目されるホスピタリティ商品や最新のトピックスを事例に討議を進めていきます。「ホスピタリティ産業の特徴」「経営における課題」、「ホスピタリティ商品を高収益化する具体的な手法」などのテーマについて、1 講義・話題提供、2 演習・課題作成、のサイクルで学習を進めていきます。											
成績評価方法											
成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。											
履修上の注意											
学生間および教員とのコミュニケーションを重視します。課題や実習を通じて積極的に参加することで、授業そのものを主体化してください。情報に敏感になり世の中の動向を観察することで、広い文脈からこの科目で学んだことを結びつけて考えましょう。なお、授業時間数の4分の3以上を出席しない学生は定期試験を受験することができません。											
教科書教材											
毎回資料をプロジェクターで投影します。参考書・参考資料等は、授業中に指示します。											
回数	授業計画										
第1回	ホスピタリティ産業の概念規定：ホスピタリティ産業の領域と概念を理解します。										
第2回	経験経済・経験価値の時代背景：経験価値とそれらが生み出された時代背景について理解します。										
第3回	高収益事業が革新したもの：ブティックホテルなどの事例を中心に高収益化の方策について理解します。										

ホスピタリティ産業論

第4回	ポストフォーディズムの消費：現代の商品が帯びるポストフォーディズムの側面について理解し今後の商品を考えます。
第5回	SDGs とホスピタリティ産業：持続可能性を帯びたホスピタリティ商品についてエコリゾートなどの事例を中心に理解します。
第6回	新しい観光の姿：ホスピタリティ商品の歴史を包括的に見ることで観光のもたらす光と影を理解します。
第7回	ハイエンド商品の限界性：ハイエンドホスピタリティ商品が持つ限界を理解し今後を考えます。
第8回	産業化の限界と新たな商品像：ホスピタリティ商品固有の性格がもたらす産業の限界について理解します。
第9回	健康志向とウェルネス商品：ディスティネーションスパなどの事例を中心にウェルネスに資するホスピタリティを考えます。
第10回	顧客満足経営の光と影：顧客満足経営の問題点を理解し今後のあるべき姿について考えます。
第11回	ホスピタリティ商品の原価計算：ホスピタリティ産業固有の原価計算について理解し、利益管理の重要性を体感します。
第12回	知覚品質とエビデンスマネジメント：知覚品質の概念とその運用方法を理解します。
第13回	ケーススタディ1：ケーススタディを通じホスピタリティ商品を自ら考え構成できるようにします。
第14回	ケーススタディ2：ケーススタディを通じホスピタリティ商品を自ら考え構成できるようにします。
第15回	高収益ビジネスモデルの模索：シェアリングエコノミーにおけるホスピタリティ商品のあり方を考えます。